

行政改革大綱実施計画書

大綱主要項目		開かれた市政の推進				
具体的な項目		市政への市民参画と情報提供の推進				
実施計画項目		広聴機会の充実				
担当課		秘書広報課	関係課	全課		
No. II-2-(1)		令和3	4	5	6	7
実施年度	実施計画	○	○	○	○	○
	効果又は 数値目標	パブリック・コメント意見数8件 市長との話し合い開催数3件 【令和3年度修正】	パブリック・コメント意見数9件 市長との話し合い開催数3件 【令和3年度修正】	パブリック・コメント意見数10件 市長との話し合い開催数4件 【令和3年度修正】	パブリック・コメント意見数11件 市長との話し合い開催数4件 【令和3年度修正】	パブリック・コメント意見数12件 市長との話し合い開催数5件 【令和3年度修正】
進捗状況	実績	D	D			
	効果又は 数値実績	意見3件 話合1件	意見0件 話合1件			
現状と課題						
<p>広聴事業に関する記事を広報紙やホームページだけでなく、SNSやFMラジオを活用して市民への周知を図っている。広報モニター会議はオンライン申請など利便性を図り、意見集約を円滑に進めることができている。パブリック・コメントは令和4年度の開催自体が2件と少なく、意見数は0件。市長との話し合い事業については、コロナ禍に対応した開催方法を提案したが、令和3・4年度ともに1回のみ開催となった。</p> <p>主な広聴事業：広報モニター会議、パブリック・コメント、市長への手紙・メール、市長との話し合い事業</p>						
課題解決に向けた方策						
<p>広聴事業のPRを強化するとともに、市民が利用しやすいよう更なる充実を図っていく。</p> <p>(1) ログフォーム等を活用した手続きの簡素化 (2) 市公式アプリ・FMもおか等を活用した周知 (3) コロナ禍に対応した市長との話し合い事業の開催</p>						
具体的な取組内容						
<p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの周知に公式LINEやFMラジオ放送を活用 市長との話し合い事業について、引き続きコロナ禍に対応するため書面で行う「手紙版」と、少人数で行う「代表者版」周知（「手紙版」1回開催） 						
実績考察（理由、改善すべき点等）						
<p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市長との話し合いについて、コロナ禍で開催が減少したが、規制の緩和により開催件数が増えるよう周知していく必要がある。 						
考察を踏まえての今後の取組方針						
<p>【令和5年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市長との話し合いについては、新型コロナウイルスの5類移行等の状況から、各自治会に対して従来の集会方式で開催できる旨を周知するとともに、「手紙版」「代表者版」の開催についても、各自治会の意向を踏まえ柔軟に対応していく。 						